

地域医療研修レポート

名古屋第一赤十字病院 研修医 1年

まずは初めに、お忙しい中1カ月の研修を受け入れて下さりありがとうございました。総合診療科の先生方をはじめとして、事務の方々、看護師さん含めコメディカルの方々、訪問看護ステーションの方々、助産所の方々、サマリアの丘の方々には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

新城市民病院の地域研修では多くのことを経験しましたが、その中でもメインとなったのが外来研修です。普段の診療では救急外来をメインにやっていますが、そこでは緊急性があるかないかが主眼になっており初期対応に特化しています。新城市民病院の内科外来では専門科がないために、高血圧、糖尿病、脂質異常、心不全、肺炎 etc...とすべて診なくてはならず、初期対応だけでなく、その後のフォローも含め診なくてはなりません。「自分たちでできることは自分たちで」という意識からか先生方も非常に勉強熱心で問診、身体所見、診断の流れは非常に勉強になりました。普段の診療ではルーチンであまり考えずに出している検査、処方なども本当に必要かどうかを考え直さねばならないと感じました。新城市民病院では患者さんの社会的背景も含め病気ではなく、患者さんを診ていると感じました。何事も患者さん第一でということが随所に見られました。診察室で医師の座る椅子より、患者さんの座る椅子の方がしっかりとした椅子である、医師も含め医療従事者が患者さんの話を遮らず聞く、社会的入院・・・など挙げだしたらきりがありません。病院によって求められる医療の姿は違えども、病気ではなく患者さんを診るという姿勢は医師である以上心に留めておかないといけないと感じました。

外部の研修でも様々なことを経験させていただきました。名郷先生の診察を見学し、EBM勉強会に参加してエビデンスの重要性を認識しました。普段何気なく行っていることは本当に患者さんにとって有益であるのか？常に疑問に持ち、追究し続ける姿勢が重要であると感じました。

訪問看護、訪問リハ、サマリアの丘、助産所の見学をできたこともよい経験となりました。地域の高齢者を地域全体でサポートする。訪問看護の看護師さんも新城市民病院の医師は理解があってよくサポートをして下さっているとおっしゃっていました。退院したら終わりではなくて地域で元気に暮らせるようサポートする。これも医師の重要な役割であると認識しました。

新城の生活を1カ月経験して、田舎の生活は贅沢だなあと感じる事が多々ありました。温かい人々、豊かな自然、おいしい食事、元気な高齢者 etc...自分は将来新城市民病院で働くかもしれません。その時はよろしく願います。1カ月間本当にありがとうございました。